



長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

長後まちだより 8号

発行日/2016年7月10日

発行/長後地区郷土づくり推進会議

責任者/市川 勤

事務局/長後市民センター

電話/0466-44-1622

FAX/0466-46-7034

郷土づくり推進会議と市長・副市長との意見交換を実施!!

長後地区郷土づくり推進会議では、平成28年4月27日(水)午後6時から、長後市民センターにおいて、鈴木市長、小野副市長、宮治副市長と「長後地区のまちづくりについて」意見交換を実施いたしました。以下、意見交換の主な質疑を掲載いたします。

1. 地産地消推進・地域ブランド育成及び観光資源の開拓に関して

地産地消の推進を図るため、長後地区で栽培されている「黒米」や新たな特産品の研究も進め、二次産品のブランド化を目指すとともに地域の特性を活かした地産地消イベントを行っている。長後地区の名所・旧跡や点在する果樹園及び豊かな自然環境を集約した、ふるさと観光マップ「長後めぐり」の作成に続き、観光資源の開拓と周知活動の支援を行っていることを踏まえて、

- Q・黒米を使った特産品を作りたいが、月1回の会議では難しい。また、長後の歴史を観光資源として、マップを配布したがなかなか浸透しない。観光は江の島に偏っているように感じる。長後地区には歴史事実はあるが、歴史的建造物がない中で、PRが難しい。その点をフォローしてほしい。
- A・テーマを地産地消とした場合、会議の際に所管課を招いた上で議論をしていくという方法もとれる。また、歴史の伝統は大切にしていかなければならないと考えている。

2. 郷土づくり推進会議の認知度に関して

平成25年度から地域経営会議に替わり「郷土づくり推進会議」がスタートした。市民、地域団体等の市民参画により、地域の特性を活かした郷土愛あふれるまちづくりを推進している。市内各地区には、伝統文化や、景観、自然環境、コミュニティなどの地域資源がある。こうした地域資源を活用しながら、地域の活性化や地域の魅力を高める取り組みを進め、郷土愛あふ

れるまちづくりを推進していることを踏まえて、

- Q・この会議や全体集会を知らない住民が多い。広報紙発行や声掛けをしても認知度は低いままである。どんなに話し合いをしても内々のものになってしまうことを恐れている。地区の方に認知してもらった上で、意見を集めていきたいと考えている。この会議でももっと周知活動が必要だが、市でももっと周知活動をしてほしい。
- A・その点はとても重要である。市としても一緒に周知をしていきたい。どういう工夫ができるのかを考えていく必要がある。いろいろな課題で話し合いをしたいが、まずは存在を知ってもらうために、おもしろい課題に取り組むという方法がある。また、他地区の郷土づくり推進会議との交流・連携をするのも互いの苦労や特色あるやり方を知ることができてよいと思う。

3. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関して

2015年(平成27年)6月8日に国際オリンピック委員会



理事会において、東京2020オリンピック競技大会セーリング競技会場を江の島に決定したことを踏まえて、Q・2020年には東京オリンピックが開催される。長後地区としても何か力になりたいが、どんなことが考えられるか。

A・本市、特に会場となる江の島にはオリンピック開催時はもとより、その前年には世界中から観光客や関係者が押し寄せることが予想される。その時に大切なのが「おもてなし」であり、ボランティアの力が不可欠である。どこにどのようなボランティアが必要かは現在、検討をしている。長後地区にとられず、市民のみなさんの力が必要である。また、オリンピックに來られた観光客を北部地区の観光に呼び込めればと考えている。例えば果樹園を利用したりして、江の島の観光客の何割かを呼び込めればと思う。

平成28・29年度 長後地区郷土づくり推進会議委員名簿

市川 勤	長後地区自治会連合会会長
荻田 准三	長後地区自治会連合会副会長
安田 宗弘	長後地区社会福祉協議会会長
近藤 洋	長後地区民生委員児童委員協議会副会長
高橋 富夫	長後地区生活環境協議会会長
布野 キヨ子	長後地区交通安全対策協議会会長
菊池 正吾	長後地区防犯協会会長
小宮 壽一	長後地区防災推進協議会会長
井上 正則	長後地区青少年育成協力会会長
山田 明弘	長後地区老人クラブ連合会副会長
横山 俊明	長後共育フォーラム会長
野渡 訓	長後だより編集委員会委員長
山村 忠夫	長後商店街協同組合理事長
長谷川勝己	富士見台地区社会体育振興協議会会長
角田 高春	一般財団法人同友会藤沢湘南台病院 事務局長
井上 毅	公募委員
大沢 旗誉介	公募委員
河原 寛子	公募委員
山口 金雄	公募委員
綿谷 由純	公募委員

編集後記

昨年、時事問題講演会で地震と噴火について講演会を行い、半年後、熊本地震が発生して、3ヵ月が経ち、被災者の方は大変な思いで過ごしている現在。藤沢市では「平成28年熊本地震災害義援金」の受付を開始した。

「長後第二納税貯蓄組合」から87,527円を義援金と

「長後子育てメッセ」を開催



5月28日(土)午前10時～12時、長後市民センター2・3階、体育室にて「第5回長後子育てメッセ」を開催、当日は過ごしやすいお天気の中、173名の親子でにぎわいました。

リトミックと親子体操の会場では、かけ声や音楽に合わせ、お父さんお母さんが子どもと一緒にホールを駆けまわり、人形劇・おはなし会の会場では、お母さんのお膝の上で子どもたちが夢中で鑑賞していました。小麦粉ねんど・お絵かきの会場では、親も子ども夢中になってキャラクターやスイーツを作り、大事に持ち帰る姿をスタッフが嬉しく見送りました。また、地産地消クッキングのコーナーでは、米粉を使ったケーキが振る舞われ、素朴なおいしさが大好評、家庭でも作れるようにレシピが配布されました。

今回から会場を拡大した子育て応援コーナーでは、市の子育て情報や保健師による計測、歯科相談を行ったほか、新たに「乳歯のみがき方」をお話しする講座を実施し、好評を博していました。

最後に、長後出身のゆるキャラ「さるてんくん」も登場、子どもたちが嬉しそうに駆け寄り、我が子との2ショットをカメラに収める方もおられました。

その他にも、様々な方の協力のもと、子育て世代を応援するための展示やブースが用意され、たくさんの笑顔があふれる一日になりました。

今回は、来年の1月31日(火)に開催を予定しています。ぜひご参加ください。



して贈ることに組合員一同の賛同を得た。

現地ではテントや自動車でお家家族「ここまで大きい地震になるのは近代観測史上、聞いたことがない。」と気象庁担当者の言葉。災害のないこと、子どもやお年寄りの安全を心から願う。

郷土づくり推進会議委員一同、今年度も地域づくりに努力します。
(野渡 訓)